



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

先週の日野市議会では各議員の一般質問が行われ、日本共産党の5名をはじめ、22名が質問を行いました。私は、介護保険と学校図書館の問題を取り上げました。

党と市民の意見反映し介護保険料月額 5,627→5,480 円

一般質問では介護保険料、特養ホーム・グループホームの増設、介護職員への支援策について取り上げました。

昨年12月議会で、日本共産党は介護保険料を引き下げるために①介護保険料収納率を実態に近づける、②介護給付費準備基金を全額取り崩す、③高額所得者に応分の負担を求めるという3つの見直しを求めました。

市民への意見募集でも同様の意見が寄せられ、3つの方向で見直しが行われ、介護保険料は月額5,480円まで下がりました。

しかし、それでも5千円を大幅に超える

保険料は大きな負担です。しかも、介護保険は1年以上保険料滞納するとサービスを受ける際に10割（通常は1割負担）立替払いとなるなど、大変重いペナルティが課せられます。

私は、高すぎる保険料を抑えるために自治体が一部を負担している例があることを示して、日野市でも市が支援をしてでも保険料を抑えることが必要だと市長に求めました。

大坪市長も、今の保険料負担が限界にきていることは認めましたが、3年後の次期保険料改正までの検討課題とするにとどまりました。

グループホームはH32年度に増設

特養ホームについては、H31年度に多摩平団地跡地に120床の特養ホームを整備するが、それ以上の整備はないとのこと。待機者（約150名）の実態に応じて引き続き見直しを求めています。

グループホームについては、当初増設計画はありませんでしたが、H32年度に定員18名分を整備すると、変更されました。



介護福祉士等資格取得費用の助成制度を新設

介護現場からも要望が強かった資格取得などへの助成については、介護職員初任者研修、実務者研修、介護福祉士の3職種について資格取得や研修費用の助成が、新年度から創設されます。募集要項などの詳細は、決まり次第事業者などへ周知していくとのことです。

困難事例に対応する公的ホームヘルプを

本人や家族が申請して初めてサービスが受けられる介護保険では、認知症や家族による虐待等の事情で介護保険の申請をしない場合、介護サービスが必要なのに受けることができないという事態が起きます。

2016年に世田谷区が行った調査では、孤立死した64人のうち、介護保険や保健福祉サービスを何も利用していなかった方は67%に上っています。

このように介護保険の申請はしていない、または受け入れを拒否している方に、必要なサービスを提供し、その方の人権、生活を保障するには、その人や家族の心を開くねばり強い働きかけや、行政の「介入」が必要です。

こうした困難事例に対応するには、採算

性が求められる民間事業者では限界があります。世田谷区ではこうした対応をする区直営のホームヘルプサービスを行う部署を持っています。日野市でもこうした公的ホームヘルプサービスを行うことを求めました。

大坪市長は、「市の当事者性が失われていることは認めざるを得ない。現場を指導していくことが難しくなっている」と述べましたが、「地域包括支援センターで行うのが基本」「困難事例については高齢福祉課も一緒に対応をしている」と現状のままでよいとの認識でした。

畑だより・・・

今年も農業体験農園が
スタートしました
最初はジャガイモの植え付け
と葉物の種まき
今年はフリースペースで
エンドウ豆に挑戦！
ツルが巻き付きやすいように
リンゴの剪定枝をわきにさし
ています
私の育った恩方では、しの竹
をこんな風にさしていました

